

福井県立若狭歴史博物館 常設展仏像一覧 (2024.1.3 現在)

仏像	時代	指定文化財	場所	所蔵
大日如来坐像	平安時代(11世紀中頃)	福井県指定文化財	小浜市飯盛	黒駒区
不動明王坐像(複製)	平安時代(11世紀後半)	重要文化財	おおい町大島	常禅寺
不動明王立像(複製)	平安時代(11世紀後半)	重要文化財	小浜市尾崎	円照寺
阿弥陀如来立像(複製)	平安時代(12世紀前半)	福井県指定文化財	おおい町大島	奥の堂
観音菩薩坐像(複製)	平安時代(10世紀前半)	重要文化財	小浜市堅海	長慶院(日光寺)
阿弥陀如来立像(複製)	鎌倉時代(12世紀後半)	高浜町指定文化財	高浜町事代	西福寺
馬頭観音坐像(複製)	平安時代(11世紀後半)	重要文化財	高浜町馬居寺	馬居寺
阿弥陀如来立像	平安時代末~鎌倉時代(12世紀)	若狭町指定文化財	若狭町田井	慈眼寺
釈迦如来坐像	平安時代後期(12世紀)	若狭町指定文化財	若狭町田井	慈眼寺
不動明王立像	平安時代(11世紀)		小浜市加茂	加茂神社
不動明王及び二童子立像	平安時代(12世紀後半)		小浜市	はんじょうじ 飯盛寺
阿弥陀如来坐像	平安時代(10世紀)	小浜市指定文化財	小浜市	仏谷区
地藏菩薩半跏像	江戸時代(19世紀)		小浜市上根来	地藏堂

若狭町 ^{じげんじ} 慈眼寺の歴史

① 大乘寺について

大乘寺は、三方湖の田井島(現在陸続き)に所在する寺院です。元文4年(1739)奥書の『田井島大乘寺中興之記』(三方郡誌)によると、創建については不詳ながら、釈迦三尊を本尊とする本堂を中心に六つの住坊(杉本坊・千手坊・上の坊・中の坊・宝光坊・蓮華坊)が存在したとされます。天文15年(1546)、若狭武田氏の家臣として田井周辺を治めていた入江実次が本堂を再建しました。桃山時代に衰退し、元禄6年(1693)、火災により本堂は焼失しましたが、釈迦・阿弥陀・観音像は救出されました。この救出された釈迦・阿弥陀像が現 慈眼寺像です。堂はのちに再建され近年まで残っていました。

② 慈眼寺の創建

慈眼寺は若狭町田井に所在する真言宗の寺院です。江戸時代にまとめられた『若州管内社寺由緒記』によると、桃山時代、太閤検地により大乘寺は衰退し、また寺が人里離れて往来に適さなかったため、慶長元年(1596)、大乘寺千手坊の僧が田井の天神・八幡社(多由比神社)の境内に普品山慈眼寺を創建(『三方町史』)し、大乘寺を管理したと記されています。慶安2年(1649)、紀伊国(和歌山県)那賀郡の僧・宥将^{ゆうしょう}が住持となり寺院を整えたといえます。その後、神仏分離を乗り越え、明治時代以降も整備・維持され、今日に至ります。